

(様式4) 【記入例】

令和7年度 教育相談員派遣事業報告書(6月分)

学校名 ○○特別支援学校

番号	実施日時		氏名	性別	学齢 学年	市町村名	相談区分(いずれか1つ)				検討している学びの場/早期支援の障害種別										診断名			発達検査 実施	所見書	報告書	備 考
	月	日					学びの場の検討 特別支援学校	学びの場の検討 小中学校等	早期支援 視覚・聴覚	福祉保健	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	自閉症・ 情緒	通級	LD	ADHD	自閉スペクト ラム症							
1	6	5	土佐 ○○	男	年長	○○市		○							○					○	△		知的発達については境界域				
2	6	11	中村 ○○	女	年中	□□市			○		○											○	視機能検査実施				
3	6	17	山田 ○○	女	小4	●●市		○						○			○		○	◎			他機関にて発達検査済				
4	6	26	日高 ○○	男	小6	○○市	○					○						○		○	○		高等部受検のため				
5	6	30	若草 ○○	男	中2	□□市		○							○					○	○		学習面(書字)の困難さ				
6																											
7																											
8																											
9																											
10																											
11																											
12																											
13																											
14																											
15																											
16																											
17																											
18																											
19																											
20																											
21																											
22																											
23																											
24																											
25																											
							1	3	1	0	1	0	1	0	0	2	1	0	1	1	4	3	2				

※網掛け部分は自動計算されるようになっているので、上書き入力しないよう気をつけてください。

【相談区分】申込票の相談区分に合わせて①学びの場の検討:特別支援学校、②学びの場の検討:小中学校等、③視覚及び聴覚に関する早期支援、「福祉保健」(福祉保健所との連携)から、該当する区分1つに○を入力する。  
【検討している学びの場/早期支援の障害種別】市町村が入級・入学を検討している特別支援学級/特別支援学校、または早期支援を行ったお子さんの障害種別に○を入力する。  
【診断名】該当するものがある場合は、○を入力する。  
【発達検査実施】発達検査を実施していれば○を入力する。  
【所見書】依頼があり、所見書を作成または作成予定の場合に、総合所見の内容によって◎・○・△のいずれかを入力する。  
※◎:特別支援学校/特別支援学級での対応が必要(知的に遅れ/課題) ○:通級による指導が必要(特性に応じた指導) △:通常学級において合理的配慮が必要(配慮)  
※総合所見の記載内容に複数の所見がある場合は、市町村が検討している学びの場の障害種の所見内容を入力する。  
※市町村が検討している学びの場の障害種別と総合所見の記載内容が一致しない場合は、備考欄に具体的に記入する。  
【報告書】依頼があり、報告書を作成または作成予定の場合に○を入力する。  
※福祉保健所からの申し込みは、市町村名の欄には居住する市町村名を記入し、備考欄に福祉保健所名を記入する。  
※県立・私立学校からの申し込みは、市町村名の欄には居住する市町村名を記入し、備考欄に学校名を記入する。  
※その他、特記すべき内容がある場合は、備考欄に記入する。